

オーエンス、読売ジャイアンツ女子チームでAED講習会



今年より本格的に活動をスタートした読売巨人軍の女子硬式野球チームでAED（自動体外式除細動器）を導入し、実技講習会を3月25日、府中市民球場で行いました。講習会には宮本監督とスタッフ、選手30名が参加。心肺蘇生法とAEDを使用する救命法を学びました。

講習会を開催した株式会社オーエンスのプール管理事業統括の加藤大悟部長は、指定管理施設での人命救助の経験から心肺蘇生法と併せて「意識のない傷病者にも心肺蘇生法をしながら声を掛けてあげてください」と呼びかけることの重要性を説明しました。

参加した中村柚葉選手は「高校時代に駅で人命救助をした経験がありますので、いつ事故が起きてもしっかりと救助できるようにと思い受講しました。貴重な経験ができて良かったです」と講習会を振り返り、伊藤春捺選手は「中学、高校と講習は受けてきましたが、命の重さを改めて感じました」と感想を話してくれました。

講習会が行われた府中市民球場のある府中市は、昨年5月、読売巨人軍とスポーツ振興に関する協働協定を締結して地域の活性化に取り組み、全日本女子野球連盟から「女子野球タウン」に認定されています。